

(1)

会長
山東昭子

78会報

発行所 公益財団法人 聴覚障害者教育福祉協会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11
福祉財団ビル5F
TEL 03-6907-2951
FAX 03-6907-29515

発行人 山東 昭子 編集人 櫻井 博
(題字 山東昭子会長)

事業案内(実施要項)を提示。このリンクからダウンロードして各学校・機関は事業案内を入手する。六月の全国聾学校長会総会で事業説明を行う。

会長あいさつ

令和二年度

理事会・評議員会報告

理事会 令和二年五月二十二日 みなし決議
評議員会 令和二年六月十二日 みなし決議

※ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い
みなし決議を行なつた。

① 令和元年度事業報告及び事業報告の附属明細書に関する件

理事会において承認され、評議員会で報告がなされた。

② 令和元年度収支決算に関する件

収支決算報告、監査報告・財務諸表が理事会、評議員会で承認決議された。

③ 令和二年度公益財団法人JKA補助事業の実施について承認決議された。

④ 次期役員の理事会推薦名簿が承認決議された。

⑤ 評議員候補者推薦(案)が承認された。

令和二年度 事業計画

【補助事業】公益財団法人JKA競輪収益助成事業

① F M補聴システム無償貸与事業

② 令和二年度も昨年度と同様の新しいタイプの機種を継続して採用する。

③ 新型コロナウイルス感染はいつ収束するかなかなか見通せない状況です。しかし可能な限り全国の聾学校や唯一の補助事業ですが、公益財団法人JKA競輪共益資金の補助事業であるF M補聴システムの無償貸与事業は予定通り実施いたします。

④ 第三十二回全国聾学校合奏コンクール
課題曲..自由
審査会..令和二年十一月四日(一次)、令和三年一月六日(二次)
表彰式..金賞・文部科学大臣賞受賞校に会長が赴いて実施予定

⑤ 後援..文部科学省・全国聾学校長会、全国聾学校長会、全国聾学校PTA連合会

⑥ 第十六回全国聾学校作文コンクール
テーマ..自由
審査会..第一次 令和二年八月二十二日
第二次 令和二年九月五日
調査研究委員会..応募作品の分析研究調査
表彰式..「第四十三回聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」で実施予定

① 一般事業

② 事業案内

③ 全国聾学校に協会ホームページ上のリンクを通して

④ 共催..全国聾学校長会

読字力検定試験 年間三回実施

聴覚障害教育関係資料収集事業

会報「響き」の発行 年二回

募金活動（ハマナス募金）目標額千四百万円
法律相談（インターネット等による法律相談）

専門図書、ビデオ、DVDの紹介・頒布

協会ホームページの公開・更新

全日本聾教育研究大会への助成

聴覚障害乳幼児教育相談委員会 関連業務の継続

当協会のためにいろいろとご尽力いただきまして誠に有難うございました。
なお、名簿の中の方は、今年度新たに就任された方です。

東京学芸大学名誉教授

堅田明義

就任ごあいさつ

全国ろう学校PTA連合会会長

横田志津



この度は評議員をさせていただいています、奈良ろう学校の横田志津です。

今年は例年になく異常な暑さも加えてコロナ感染もあり、先の見通しがつかない日々を過ごしていることと思います。

子ども達もいつもと違う日常の中で不安や戸惑いを感じておられます。また、子ども達にとってのイベントである運動会や文化祭、宿泊訓練、修学旅行などが中止になつたりしているのを見て心が痛みます。ろう学校で育つ私は幼稚部では厳しい口話教育を受けましたが家庭では親がのびのびとさせてくださいたので、小学部で手話と出会い、自分の言語を持つことで自分らしく育ち、今の自分があると思つております。なので、ろう学校に通う子ども達が自分たちの言語である手話を基盤とした肯定感が育つ環境の中で自分らしく育ち、いろんな夢を見つけ、それに向かつていけるようにしてあげたいと思いながら活動しています。

また、令和の時代に相応しくろう児のためのろう学校教育になつていけるよう手助けできたらと思つております。どうぞよろしくお願ひします。



故小川再治先生の奥様から電話をいただき、奥様の体調との関連で本会の評議員を辞退したいので後を引き継いでほしいとのことでした。少し躊躇しましたが、引き受けました。

一九五五年に私が大学に入学した時には小川先生は助手でしたが、その時以来の縁で断る理由はありませんでした。

私は心理学や電気生理学の手法を用いて知的障害重症心身障害、視覚障害を対象に研究してきました。聴覚障害についてはもっぱら若手研究者のサポート役を務めてきましたが、若い研究者のサポートは早くから行つてきました。

一九七九年に私を含め三人の仲間で東日本の障害関連を専攻している大学院生中心の研究会を立ち上げ、年に複数回開催し、現在まで引き継がれ一二〇回以上開催されています。開催当初は仲間の一人の勤務地の仙台で時には隔月に開催していました。研究会の名称は当初ではなく、自然発生的に「発達科学研究交流会」と名乗るようになったのは相当の開催回数を経てからでした。

開催に当たつては、安宿の斡旋と開催日は土曜日午後からは開始し、日曜日十二時終了すること以外の約束事は今以て何もありません。約四十年以上続いた研究会は時間制限のない質疑応答を行うことが原則ですが、時には数十名から百名を超す若者の参加も珍しくなく、発表者も多数になりやむなく時間制限をされるようになりました。土曜日の発表後は懇親会が計画され、夜を徹して議論や情報交換が行われて来ました。

障害を研究する若手を育てるのは所属大学内の研究室のみでなく、大学間の交流の場を設定すれば若手相互の交流が自然に発生し、そのことが何にも勝る彼らの交流が自然に発生し、そのことが何にも勝る彼らの

事務局

(事務局長) 松本末男
(事務主事) 小針丈幸

なお、長きに亘つて当協会の評議員をお勤め頂いた小川昭子氏は、この度健康上の理由により退任されました。後任には堅田明義氏が就任されました。また、植草喜代治氏に代わつて全国ろう学校PTA連合会会長の横田氏が就任されました。小川氏、植草氏とともに

発展の場になるようです。

しかし今年はコロナ問題で中断しています。若い研究者を中心とした研究会の先行きがコロナ問題でどうなるかを心配しています。なお私は、現在も、地方の私立大学の大学院生の面倒をみています。

したがつて例年作成している「第十六回全国聾学校作文コンクール入選作品集」は作成いたしません。また、「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」における表彰及び発表も残念ながら中止となりました。

第四十二回 聴覚障害児を育てた お母さんをたたえる会

当協会の事業は、公益財団法人JKA競輪公益資金の補助をはじめとして、皆様方からのご寄附（ハマナス募金）により実施しています。

皆様方のご理解とご支援に深く感謝しております。今年度も計画事業の適正な実施に努めているところですが、昨今の社会情勢から事業資金の確保が大変厳しい状況にあります。つきましては、皆様方より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年度の「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一つの会場で一堂に会する形を避け、式典と発表を行わず、表彰の楯を各お母さん方にお届けすることにしました。楯の発送は十二月の予定です。各校、各地域からのお母さんの推薦は予定通り九月三十日（水）まででした。

令和二年度 第一回読み字力検定試験

本年六月実施の読み字力検定試験は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い残念ながら中止しました。第二回（十月）、第三回（二月）は実施します。合格を目指して頑張ってください。

第一回 聰学校絵画展

今年度の全国聰学校絵画展は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、作品の作成、応募等の条件が整わないこと、審査を実施するのにどうしても三密を避けられない等々の理由から、中止としました。

例年この絵画展における最優秀賞（二点）並びに優秀賞受賞作品（十四点）は、令和二年度第五十四回全日本聰教育研究大会（埼玉大会）会場において展示される予定でしたが、今年度はこの全日聰研そのものも新型コロナウイルス感染拡大に伴い、インターネットを使ったウェブ開催となってしまいましたので、展示等は從来通りにはできませんでした。

第二十一回 全国聰学校合奏コンクール

年間最後の事業である合奏コンクールは、八月末の書兒を育てたお母さんをたたえる会の式典が実施されないこともあり、表彰を行わないことにいたしました。

当協会は、平成二十四年四月六日内閣府（内閣総理大臣）より税額控除に係る証明を受けております。

● 桜内義雄賞

ハマナス募金のお振込みは、郵便振替もしくは銀行振込にてお願いいたします。
郵便振替口座 00110-9-134877
名義 聰障害者教育福祉協会
銀行振込 みずほ銀行江戸川橋支店
普通口座 1615748
名義 公益財団法人聰障害者教育福祉協会
会長 山東昭子

第十六回 全国聰学校作文コンクール

全国聰学校作文コンクールも新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各聰学校での作品作成の条件等が整わないということから、中止となりました。

（3）
令和二年四月一日から九月末までの間に、次の皆様方よりご寄附をお寄せいただきました。誠に有難うございました。

谷口昭子、木内弘司、株式会社日健総本社（森伸夫）、
宮野忠夫、谷口昭子、金子昌夫、川村美津子、阿部きみよ、
株式会社宝古堂美術（山田春雄）、佐々木節子、春名英徳、
石川庄六、若宮幾馬、辻村哲夫、金子昌夫、兵藤紀之、
(株)ATOMICS(山勝彦)、闇根正浩、近畿調査株式会

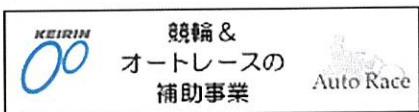
ハマナス募金

協会の事業

社（武健一）、竹田統子、本間合同法律事務所（本間通義）、佐藤和子、新潟県難聴児を持つ親の会（渡辺国正）、西村廣一、田中美郷、大沼直紀、北海道高等聾学校振興会、静岡県聴覚障害者親の会（鈴木厚）、関東地区聴覚障害者親の会連合会（鈴木厚）、竹ヶ原克哉、（株）大場組（大場利秋）、齋藤佐和、石川進、西本徹、武田ビル（株）（武田智彦）、荒崎勝美、全国難聴児を持つ親の会事務局（田中眞由美）、桑原純子、姫路聴覚特別支援学校白鶯会（竹中恵美子）、群馬県聴覚障害者親の会、斎藤捷彦、一般社団法人日本補聴器販売店協会、谷口昭子、青森県ことばと心を育む会、山本博美、谷口昭子、木内弘司、藤本登、株式会社フジライフコム（藤本登）、谷口昭子、リオン株式会社、中村喜久子、石油連盟

令和二年度

公益財団法人JKA競輪公益資金による補助事業実施計画



- 一 事業名
令和二年度障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
- 二 事業実施内容
- (一) F.M補聴システムの購入・無償貸与
送信機・受信機二十四セット
- 全国聾学校・聴覚特別支援学校 小学校、中学校、難聴児通園施設に在籍 在園する幼児・児童・生徒の家庭に貸与



目録贈呈式		
左	今井絵理子	協会評議員
中央	山東昭子	協会会长
右	代表取締役	三浦貴嗣

透明衛生マスクのプレゼント

編集後記

株式会社ワインカム（代表取締役 三浦貴嗣）から当協会に全国の聾学校の児童・生徒と先生方に活用してほしいと、合わせて約一万三千個の衛生透明マスクが寄贈されました。

八月十一日に目録贈呈式が参議院議長公邸で行われ、山東昭子会長に三浦氏から目録が贈呈されました。

当初は関東地区の聾学校から順次配布する予定でしたが、八月上旬には全国の聾学校にほぼ一斉に配布されました。配布前の事前説明が不足していたために問い合わせが事務局に殺到いたしました。大変失礼いたしました。しかし、その後は多くの聾学校の校長先生や関係者から、「聾学校では必需品でいろいろ工夫していましたが、大変使いやすく便利です。」等というお礼の手紙がたくさん届きました。是非ご活用ください。

昨年度は台風十五号・十九号の被害が、特に千葉県に大きく影響を及ぼしたということをこの編集後記で取り上げました。一年以上経っているにもかかわらずその爪痕はまだ様々などころに残っています。それでも毎年のように大雨、暴風等による大きな被害が続いています。特に今年度は新型コロナウイルスの感染拡大と重なっていますので関係機関は例年とはまた異なった対応を求めてられています。

今年度は五月理事会、六月評議員会がみなし決議となりましたので、改めて今号で報告等をさせていただきました。また、例年ですと年度当初の読字力検定、絵画展、作文コンクール等事業が実際に実施された後の報告の部分を掲載できるのですが、今年度は各事業が中止や変更になつてるので実施報告とはできませんでした。大きな変更事項として、「聴覚障害児を育てたお母さんをたてる会」の内容が大きく変更となり、式典・発表を憲政記念館で実施せず、表彰楯の贈呈のみになります。協会としても過去に例の無い初めての事態です。これに伴つて作文コンクールの表彰や桜内義雄賞の表彰も今年度は行わないことといたしました。合奏コンクールや二回目、三回目の読字力検定試験は実施いたします。是非ご協力いただけますようお願い申し上げます。